

天川村男女共同参画等計画

～男女がともに自分らしさを生かせる村を目指して～

令和7年3月
天川村

【目次】

- はじめに P.1
- 天川村の基本情報 P.2
- 天川村の男女共同参画の現状 P.3
- 天川村の「魅力と課題」分析 P.4
- 計画の理念と目標 P.5
- 重点目標と施策の方向性 P.6
- 計画の推進体制 P.7

-はじめに-

天川村を取り巻く環境は、過疎化・少子高齢化の進行にともない、家族形態や地域との関わり方の変化、また、定住促進による移住者の増加等、著しく変化しています。

そのような環境の中、特に深刻な人口減少問題への対策として、多様な生き方の人々を受け入れる「男女共同参画」の視点を持った村づくりを求められています。

都市部では薄れてきた地域のつながりを活かしつつ、男女が尊重し合い、自分らしく生きることを目指し、「天川村男女共同参画等計画」を定めます。

【本計画の位置づけ】

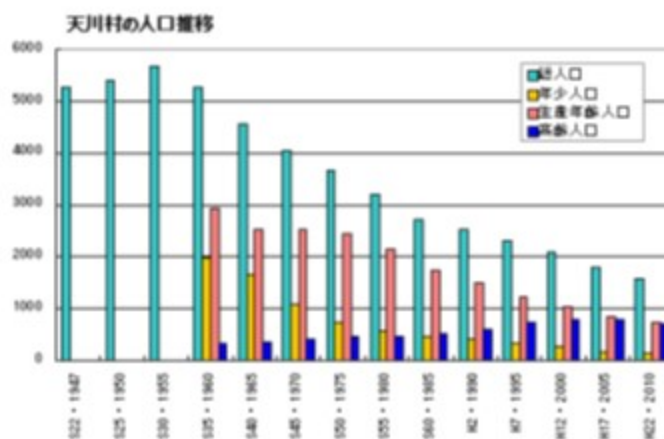
- ▶ 本計画は以下4点を一体的に策定するものとします。
 - 「男女共同参画社会基本法」第14条第3項に基づく市町村男女共同参画計画
 - 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」第6条第2項に基づく市町村推進計画
 - 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」第2条の3第3項に基づく市町村基本計画
 - 「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」第8条第3項に基づく市町村計画

【本計画の期間】

- ▶ 本計画の期間は令和7年度～11年度の5年間とします。

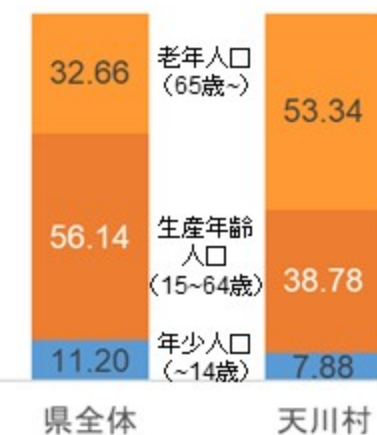
天川村の基本情報

- 天川村は昭和30(1955)年に人口ピークを迎え(5,686人)その後減少、令和5年10月時点ではピークのおよそ1/5となる1,078人となりました。また高齢者率は県平均(32.7%)に比べて53.3%(令和5年10月)と高くなっています。
- 人口の男女比は男性48.1%(585名)、女性51.9%(632名)(令和6年3月末)で令和5年度の転入者は20人です。
- 天川村は世界遺産エリアの一角である大峯山を初め洞川温泉、天ノ川など観光資源が豊富なことから、近年は観光業を中心とした第3次産業に従事する人の割合が多くなっています。(1970年37.9%→2010年77.1%(国勢調査))



天川村人口ビジョン(H27)より

3区分別人口の割合(県・村比較)



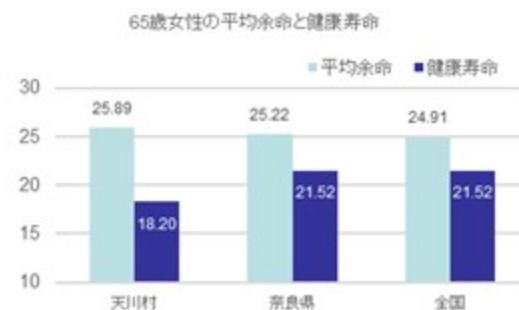
奈良県推計人口年報(R5.10.1時点)

天川村の男女共同参画の現状について

- 奈良県の女性の就業率は**70.5%**(20歳～64歳、R2国勢調査)ですが、天川村は県よりも高い**75.1%**で、職業生活における女性活躍が進んでいるのが特徴です。
- 就学前の児童数は**32人**ですが、そのうち村内の保育所の入所者は**6人**、幼稚園の入園者は**21人**と、預けて働けている方も多いと推定されます。(令和6年3月末)
- 地域活動における女性の進出が年々進んでおり、自治会長(区長)・民生児童委員・人権擁護委員・教育委員など、女性の活躍が進んでいる分野も多くあります。
- 地域活動においても女性団体が年間を通じて活動されている一方で、村議会議員や役場の管理職(課長級以上)には女性がおらず(令和6年3月末)、意思決定の場への女性の進出は進んでいないのが現状です。
- また、女人禁制となっている大峯山については過去から様々な議論がありました。
- 都市部に比べ、近隣の人々と顔が見える昔ながらの地域コミュニティが多く存在していることから、高齢者や子どもを見守り、男女を問わずに地域で相互に協力し合う風土が残っています。
- 女性の健康寿命は**85.70歳**で、県平均よりも**0.14歳**短くなっています。(令和6年3月末)



国勢調査(R2)



県のデータ(R2)より

天川村の「魅力と課題」分析

▶ 住民のご意見や各種データ分析等から検討を重ね、天川村の魅力と課題を整理しました。

今後必要な視点

男女共同
参画の意
識・女性
の参画

魅力

- ✓ 男女にかかわらず、地域全体で相互協力していく風土がある
- ✓ 「天川村女性の会」や民生委員など、地域活動で女性が活躍している
- ✓ 女性の自治会長(区長)がいる(女性自治会長は県内12村で2名のみ、H31.4月時点)
- ✓ 男女の固定的役割分担意識が県全体より低い

課題

- ✓ 消防団を中心とした防災活動で女性の進出が少ない
- ✓ 地域の寄り合いなど、意思決定の場への女性の参画が少ない

男女共同参画の意
識づくりと、女性の参
画促進

女性の活
躍・両立
支援

魅力

- ✓ 女性の就業率75.1%(20歳～64歳、R2国勢調査)が全国平均・奈良県の値を上回っている
- ✓ 旅館業を中心に様々な職業で、村内女性の参画・活躍がみられる
- ✓ 生涯を通じて農業などの仕事・役割がある。
- ✓ 3歳児までの手当支給(月1万円)。医療費助成(高3世代まで)。保育料の無償化、保育園・幼稚園から後期課程生徒(中学生)の給食無償化等、経済支援が充実している
- ✓ 保育園・学童保育が整備され、待機児童もない
- ✓ 移住者に対する受け入れ体制が手厚い(住宅・仕事・地域のつながりを斡旋)

課題

- ✓ いったん職業を離れた女性は、村内の身近な場所での再就職が難しい(観光業は季節による繁忙差があり、年間を通じて雇用がない)
- ✓ 産婦人科・小児科がない、学校の選択肢がないなど、不便な環境
- ✓ 男性の家事・育児参画を意識面でも、行動面でもより進める必要がある

働き続けたい女性の
希望を叶える就労環
境の整備、両立支援
の充実

女性の健
康・安全

魅力

- ✓ 顔の見える地域コミュニティの存在が犯罪・暴力の抑止力となっている
- ✓ 保健師等との関係が密であり、きめ細やかなケアが可能

課題

- ✓ コミュニティの距離が近い場合、本当の悩みがあった場合に、それが見えにくく、相談や支援を受けにくい
- ✓ 車社会のため運動習慣のない人が多い
- ✓ 乳がん、子宮がん検診の受診率が低い

心身の安心・安全の
ための相談・連携体
制の整備

計画の理念と目標

- ▶ 村の「魅力と課題」を踏まえて、以下のとおり基本理念と基本目標を定めます。

基本理念

男女がともに尊重しあい、
だれもが自分らしさを生かせる村づくり

基本目標

1

みんなで学ぼう、考えよう 男女共同参画のこと

村民一人ひとりが男女共同参画の視点に触れ、考え、実行できる村づくりを行います。

2

男女がともに自立して生きがいをもとう

多様性を認め合い、村民全員が性別にかかわらず自らの希望する道を選ぶことができ、生きがいを持って住み続けられる村を目指します。

3

だれもが安全で安心な村づくり

男女共同参画の視点から、村民が心身共に健康な村づくりを進めます。

数値目標

固定的性別役割分担意識に肯定的な人の割合を減らす

重点目標と施策の方向性

➤ 目標達成に向けた施策の方向性は以下のとおりです。

基本目標

重点目標

施策の方向性

1

みんなで学ぼう、
考えよう
男女共同参画のこと

1-1.男女共同参画の意識づくり

- 役場内における男女共同参画研修等の実施
- 村民に対する様々な機会での男女共同参画の啓発活動の実施(男女共同参画週間等での啓発)

1-2.男女の意見が反映する村づくり

- 村議会、村役場における女性の登用の促進
- 審議会、自治会等、地域の意思決定の場への女性の参画促進
- 男女共同参画の視点を取り入れた防災活動の展開

2

男女がともに自立して
生きがいをもとう

2-1.女性の活躍促進

- 直売所運営など、新たな就労・活躍の場の創出
- 多様な保育ニーズへの対応
- 子育て家庭への経済的支援の充実

2-2.生涯を通じて、男女とも生きがい
を持てる暮らし

- 男性の家事・育児への参画の推進
- 高齢者の生きがい作り
- 移住・定住施策の推進

3

だれもが安全で安心な
村づくり

3-1.心身の健康づくり

- 定期健康診断、がん検診の受診促進
- 生活習慣の改善むけた正しい知識の普及、機会の提供
- 県相談窓口・保健師等との連携
- すべての子どもの実態把握

3-2.DV等、暴力の防止

- 様々な機会での暴力防止啓発活動の実施
- 相談窓口の周知
- 女性相談窓口の設置
- 困難な問題を抱える女性への支援

計画の推進体制

【役場内の推進体制】

- 役場内の職員一人ひとりが男女共同参画の理念を認識することに努め、推進体制を明確にします。また、役場内での連携を図り、男女共同参画に関する施策の推進を図ります。

【村民との連携体制づくり】

- 積極的に広報・啓発活動を実施し、事業者・関係機関・各種団体等・村民との連携及び協力体制づくりに努めます。

